

番号	氏名	抱負
271	山城 晶弘	私は昨年末、長野にて開催された関東支部学術発表大会に実行委員として携わる機会を頂きました。その中で本会の発展には地方(各支部)の発展が必須と感じられました。地方から若い力を育成し、また自身も成長出来るよう本学会の飛躍に貢献したく考えております。非常に微力ではありますが地方から本学会の発展、また支部活動の発展に寄与できればと考え代議員に立候補いたします。
272	山田 聖	今日の高齢化社会では低侵襲で高精度な放射線治療及び放射線診療の普及とその技術の均てん化が国民の福祉にとって重要な課題である。チーム医療において診療放射線技師の役割は大きく、安全で安心な放射線医療提供するためのOJT体制の構築やグローバルな人材の育成ができる環境づくりが必要である。日常診療や教育・研究の中で現場目線から微力ながら学会をサポートしていきたいと考えております。
273	山谷 裕哉	私は大学病院のMR検査部門において磁気共鳴専門技術者として検査に従事し安全管理に努めてまいりました。また現在まで、日本放射線技術学会近畿支部において編集委員、財務委員や本学会の研究班の班員などを務めさせて頂きました。それらの経験を通して本会の発展のために貢献したく、この度、代議員に立候補させて頂きました。
274	山根 武史	日本放射線技術学会が更に国際化し進展するように、所属の中国・四国支部の副支部長として、また所属施設の鳥取大学医学部附属病院としても活動していきたい。
275	山本 剛	私の専門とする分野は医療情報学です。放射線技術学の中で医療情報分野は、様々なモデルティを横断的に活用出来る技術を研究出来る領域だと考えます。今後の放射線技術学会での医療情報分野の発展を願い、また未来に向けて今以上に研究を重ね人材育成にも力を入れる必要があるため、代議員として意見を学会へ届ける為に立候補いたします。
276	山本 鋭二郎	近畿支部の事業に関らせていただいていた8年目で、現在は支部の企画副委員長をさせて頂いております。また関西の放射線治療の勉強会の世話人をしており、多くの学会員の皆さまと意見交換をさせて頂いております。微力ではありますが会員の皆さまの声を少しでも反映すること、学術団体としての本学会の発展に寄与していきたいと思っております。
277	山本 智朗	診療放射線技師の海外での学会発表や英文誌への投稿は増加の一途を辿っており、学術レベルも確実に上がっております。しかし、総会の英語発表のレベルはまだ低く、特にディスカッションされずに終わるケースが大半なのが現状です。このため小生は、英語での発表と討論を恥じることなく行えるような企画を立案したいと思っております。また、アジアの診療放射線技師に対する教育を本会が主導できるような企画もしたいと思っております。
278	山本 泰司	日本放射線技術学会でも国際化が進み総会学術大会では英語スライド・発表が行われている。これら取り組みは放射線技師の地位の向上、職域拡大、更には政治的認知度の向上により最終的には診療報酬等に反映差される可能性もある。それらは若手技師のモチベーション向上にも繋がる。これら取り組みを地方支部から後押し学会の進むべき方向性への一助を担いたい。
279	横岡 由姫	これまで医療情報分野の実務・研究を継続して続けてまいりました。これからも変わらず継続して、日常から、そして研究視点から、より良い医療情報システム・システム管理者の環境構築を目指し、会員の皆様とともに幅広く活動させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
280	横濱 則也	代議員に立候補いたします。私はこれまでに、臨床はもとより粒子線がん治療や医用画像処理、医療情報分野での研究開発、研究会やセミナー等の活動を通して、本学会や社会に寄与してきたと自負しております。こうしたこれまでの知識や経験を活かし、また会員のご意見もいただきながら、本学会の代議員としてさらなる貢献をしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願い申し上げます。